

2026 年 8 月 17 日
一般社団法人 日本在宅介護協会

熊本地震被災地に訪問入浴車と専門職員を派遣

断水が続く介護施設で入居者・避難者の入浴支援活動を実施中

令和 8 年熊本地震において被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。

日本在宅介護協会（在宅協）では、東日本大震災以降、激甚災害のたびに被災地に訪問入浴車両と専門職員を派遣し、入浴できない高齢者・障害者への入浴支援活動を行ってきました。

今回の熊本地震においても、発災から 2 週間が経過し、命や生活を守る応急期・急性期から脱しつつあるフェーズであると判断し、厚生労働省からの要請を受けて 8 月 14 日から本格的な入浴支援活動を開始しました。

「一般社団法人『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会（民介協）」と協働で、自前の給水車と訪問入浴車をペアで走らせて、被害の大きな八代市・氷川町の介護施設や病院を中心に活動しています。

被災地では断水が続き、発災以来、清拭のみで一度も入浴していない方々が多くおられます。久しぶりに湯船につかり、衛生面のみならず精神的な安らぎを覚える方も多いようで、被災地だからこそその入浴の大切さが分かります。

一日も早い復興と復旧に向けて、当協会ではできる限りの活動を続けてまいります。



▲8/14 午後は八代市の地域密着型特別養護老人ホームに訪問入浴車 2 台と給水車 1 台を派遣





▼八代港に停泊中の海上保安庁の巡視船から、自前の給水車（約 4000 リットル）に水を補給してもらい、給水車から訪問入浴車に現場で水を供給しています。



- この活動は現地のニーズを見ながら当面の間、続ける予定です
- 活動結果は、活動終了後にあらためて公表します

【参考】能登半島地震の際の活動報告はこちら

<https://zaitaku-kyo.gr.jp/wp-content/themes/zaitaku/img/pdf/r6-noto-disaster-report.pdf>

<本件に関する問い合わせ先>

一般社団法人日本在宅介護協会 事務局 東京都千代田区九段北 1-7-3 九段岡澤ビル 3 階
Tel:03(6272)8535／Mail:zaitaku@zaitaku-kyo.jp